

---

# 桜夜叉

佐々木 沙女

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

桜夜叉

### 【Nコード】

N6015Z

### 【作者名】

佐々木 沙女

### 【あらすじ】

毎日を退屈に思いながら過ごしていた。ある日、見知らぬ少年に出会ったことよって廻り出す運命。前世とか、関係して…。

不定期更新。

## その1

「はいつ。」

勢いよく返事をして立ち上がった。  
のだから、周りの様子が少しおかしい？

「御子柴君。」

と、落ち着いた声で呼ばれそちらを向くと

「君は僕の授業を聞いていたのかな？」  
額に怒りマークが見えるような、数学教師が聞いてきた。

周りの生徒は、小さな声で笑っていた。

6限目ともなれば教師の話が子守唄に聞こえてしまい、つい夢の住人と仲良くなって仕舞うのは、仕方がない。

「すみませんでした。」

「授業中寝るのは構わないよ、全然。ただ授業の邪魔だけはやめてくれるかな？」

数学教師は嫌味をいって授業を再開した。

「さつきは、中々に面白かったよ」

笑いをこらえながら声を掛けてきたのは  
幼なじみの坂神京子 幼稚園から一緒にいる。

「からかわないですよ！恥ずかしかったんだから」  
プイツと顔を背けた。

「で、一体どんな夢だったの？」

「それが覚えてないのよ…。  
でも、凄く大切だった様な…  
懐かしい感じがしたんだよね。」

《2 A 御子柴 桜さん5分以内に生徒会室まで来て下さい。

あと、5分以内に来なかったら分かって居るんだろうな》

一体何様のつもりでこんな放送してるのかしら…  
「やばい。忘れてた！！」

今日は会議があるから放課後すぐに来いって言われてた。

「

## その2

「京子ちゃん、ごめんね。もう、行かなくちゃいけない。  
また明日ネ」

「また、明日。  
頑張れ、生徒会書記殿」

慌てて、鞆を持ってすぐに教室をあとにした。

急がないと不機嫌が更に加速して、ねちねちとしつこい程の厭味を  
言われる。

放送で隠しもしないととなると、余程危険よね。

ああ、何で今日はついてないのかしら

「そろそろかもしれないな」

ぼつりと京子がこぼした言葉は、誰の耳にも届くことはなかった。

そう、今思えばこの時から私の運命が動きだしていた。

この日見た夢のことを、覚えてさえいれば  
少しは違う結末があったのかも。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6015z/>

---

桜夜叉

2011年12月21日00時51分発行